

五領地区連合

自治会だより

第32号

平成26年3月25日

発行所
五領地区連合自治会

市長と語るタウンミーティング

五領地区で開催

五領の自然を守る

二世代が一緒に住める街づくり

五領地区の「市長と語るタウンミーティング」が一月二十日五領公民館で行われ、「高槻市の人口増加に繋がる提言」と「私たち地域住民ができること、やっている事、やってみよう」の二つをテーマに意見が交わされました。

「市長と語るタウンミーティング」については、高槻市が今後進める施策について、各地区からの意見を反映しようと、毎年行われており、五領での開催となりました。

冒頭、行政側、地元各団体の紹介が行われ、高槻市長、連合自治会長の



結成30周年大会行う 思い出残る活動を紹介

五領地区連合自治会が、本年結成三十周年を迎えることとなりました。その記念の大会が、三月一日、第二十四回五領文化展のオープニングに先駆け五領公民館で行われました。

大会では、冒頭、昭和五十九年結成当時から思い出に残る写真で構成された「記念スライド」が放映されましたが「地域に根ざした、庶民文化



挨拶があった後、地区紹介のスライドを上映。その後、二つのテーマで

の話し合いとなりました。第一の「高槻市の人口増加に繋がる提言について」は、未就園児童が、私立幼稚園や、保育所を選ばれる方が増え、公立幼稚園の定員割れが生じており、三年保育を望みます。また、通園バスや、延長保育、給食等も検討してほしいとの声がありました。市長からは、子供さんの為の保育との認識に立ち、民間施設と

の調整を図る旨の話がありました。第二の「私たち地域住民ができること、やってみよう」では、梶原の新駅、新名神による地域の分断、梶原の里山の自然保護についての意見と共に「三世代が一緒に住めるまち」づくりの必要性が訴えられました。

市長からは、道路については安全面をしっかりと、五領での世代間交流に感謝し、三世代ファミリー定住支援事業を進めたい、との話がありました。

希望のメッセージ展も開催

の興隆」をテーマにまとめられ、十七回となった「ふるさと祭り」二十四回を数える「文化展」、環境美化、健康ルネサンス、そして、子どもとシ



ニアを大切にしながら今日の取り組みを紹介するものでした。

中原武連合自治会長は、歴代役員への謝意を表明するとともに、連合自治会の発足と活動に触れ、三十年たった今日、「これからも一緒に素晴らしい五領のコミュニティ創りをしよう」と呼びかけました。

来賓を代表して、高槻市副市長・倉橋隆男さん、高槻市コミュニティ市民会議議長・高須賀嘉章さんから挨拶がありました。(二、三関連記事)

ご挨拶

連合自治会結成三十周年おめでとうございませう。結成当時、活動拠点も無い中、先輩たちは、

コミュニケーションセンターの建設と中消防署五領出張所に救急車を配備することなど当面の課題を一つずつ取り組まれました。初代会長の中川宗一氏や現在高槻市

コミュニケーション市民会議議長の高須賀嘉章氏が、高槻市や大阪府に毎週のように陳情に出向き、努力の甲斐あって、救急車の配備や「五領公民館」の建設は、四年を待たずに達成されました。

現在の活動は、人の喜びやつながりをどう作るかということに力点が置かれています。市民生活を幸せなものにするためには、地域の一人

連合自治会会長 中原 武さん



一人が自ら希望を生み出す力をつけつつ、それぞれの特性を生かしながら連携を持つことだと思えます。

五領地区では、「地域の未来は子どもたちの未来」とのスローガンで進んでまいりました。未来を子どもたちを！というところが、地域活動のポイントです。

もう一点は、文化活動です。特に庶民の、地域に根差した文化・教育の活動は、人々に深いつながりと生きる勇氣を生み出す源泉になり得るといふ実感です。

ともかく私自身、皆様とともに活動してきて思うことは、多くの人たちとの出会いから、多くのものを学ばせていただいているという事です。

連合自治会は、三十歳になりました。まだまだ青年です。皆様とともに素晴らしい五領のコミュニケーションを作ってまいりたいと思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

未来を！子どもたちを！



高槻市長 濱田剛史さん

五領地区連合自治会におかれましては、このたび結成三十周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

貴連合自治会は、本市が人口急増期を経て、都市基盤の本格的な整備を取り組み始めた昭和五十年代末に結成されまし

五領地区連合自治会結成三十周年、誠におめでとうございませう。五領地区の今日のご活躍ぶりを目に致します時、歴代会長はじめ、役員の皆様のご労苦が偲ばれ、感謝の気持ちでいっぱいになります。

市民会議議長 高須賀嘉章さん



た。社会情勢が大きく変動する中で、現在では恒例となりました春の「五領文化展」や夏の「五領ふるさと祭り」など、多彩なコミュニケーション活動を通して住民相互の交流を

元気な地域づくりを

深め、複雑化する地域課題の解決や住民ニーズの多様化に対応したまちづくりを実践してこられました。

近年は、本市が取り組む防災・減災対策や少子

高齢社会への対応といった様々な課題解決にも大きな役割を担っていただき、また、皆様方のご協力によって、昨年四月には、市営バス上牧線の運行を開始することができ

この三十年間、地域の絆を育みながら、住みよいまちとして発展してこられましたことは、歴代

役員の皆様方をはじめ、地域の皆様方のご尽力の賜物と深く敬意を表します。

本市といたしましては、「住みやすさナンバーワンのみち」を目指し、地域の皆様方との協働のもと、「地域に元気があつて市民が誇れるまち」の実現に向けたまちづくりを推進してまいります。

結びに、貴連合自治会の今後益々のご発展と、地域の皆様方のご健勝ご多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

お祝いのNUMBER

五領地区も、上牧駅前開発も含め、高槻市の人口増加の中で、多くの友を迎えました。この新しい友と旧来の住宅が一体となって街づくりをはじめ

アイデアア光る諸活動

ようとした経緯のなかで、中川初代会長の存在は忘れられません。

同じ地区の一員として私も、命を守る視点から

の「五領消防出張所の救急車の整備」や、地域活

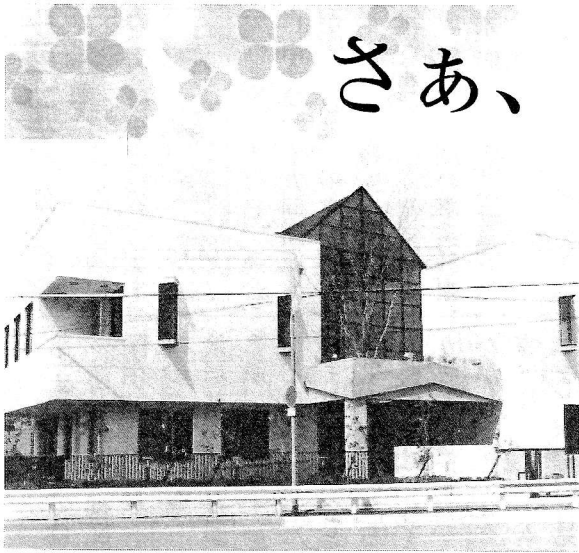
動の拠点となる「コミュニケーションセンターの設立」など、一緒に陳情活動を行いました。特に、コミュニケーションセンターの用地確保には、自ら府まで交渉に当たるなど情熱的な一面

現在、五領地区にあっては、中原現会長を中心に、アイデア光る地域活動が進められています。「ふるさと祭り」や「文化展」にも一工夫を加え、

シニアと子供をキーワードとした活動や、小学校の芝生育成などは、仲秋月見会を含め、高く評価されるものと考えます。

今、五領地区は交通の要衝地ということもあって、新名神や十高などを始め、大きく地域が変わる様相をはらんでいます。どうか、これまで以上に皆様の力を結集され、地域がよき発展を遂げられますことを、切望し、お祝いの言葉と致します。

さあ、希望の未来へ!



五領公民館完成

昭和63年4月、要望してきた地域活動の拠点のコミュニティセンターが五領公民館(五領コミュニティセンター)として完成した

フォトで綴る30年の活動

陳情活動



昭和五十九年三月の連合自治会発足総会で、五領コミュニティセンターの建設、



五領消防出張所への救急車の配備を掲げスタート。市幹部との懇談や、陳情を行いました。(陳情風景、右端が中川初代会長)(昭和六十年に配備された救急車)

文化展



平成三年にスタート、現在は希望のメッセージ展の愛称でレインボーステージでの発表も行っている。



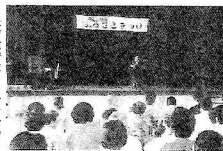
右端が元会長の福井さん

盛大に第一回五領ふるさとまつり

七月二十六日、第一回五領ふるさとまつりが五領小学校で行われました。晴れた日、朝早くから多くの市民が参加し、カラオケ大会や子供たちのパフォーマンス、ダンスなどが行われました。また、「ふるさと」のコーナーもあり、多くの市民が参加し、盛りだくさんの行事となりました。



なんともいえない笑顔



休演ではカラオケ大会



市長も輪の中に入り



入場のセレブレーション



子供達のために全食すくいヨーヨーの出店も



お祭り気分

第1回、五領ふるさと祭を紹介した自治会だより

環境美化活動



平成元年、不法屋外広告物撤去として市でも先駆的に取り組む。現在では、年2回環境美化デーにあわせて行っている

社会見学



昭和61年からスタート、現在も続く行事。そのほか、工場見学も行った

ゲートボール大会



昭和60年に上牧ゲートボール場が開設され、模範試合を行う。その後、平成1年より大会と銘打ち、近くは、グラウンドゴルフ大会と同時開催するようになった

平成二十五年度の行事

連合自治会と関係団体の主な行事を紹介します。

定期総会

昨年五月十二日、連合自治会第二十九回定期総会が開催され、平成二十四年度の事業報告、同決算報告並びに監査報告、平成二十五年度の事業計画案、同予算案等を審議し、採択しました。

なお、役員については、会長に中原武、副会長に高須賀嘉章、高浪岸夫、塩見勝弥、事務局長に田所順子、会計に宮本佳幸、監査に、御本正、前川季也の各氏が選任されました。

五領ふるさとまつり

- 七月二十七日「第十七回五領ふるさと祭り」が、五領小学校グラウンドで行われました。
- 第一部ヒューマンステージでは
 - ①金光大阪チアリーダー
 - ②大正琴(ドリム)
 - ③和太鼓天晴座
 - ④沖繩三線

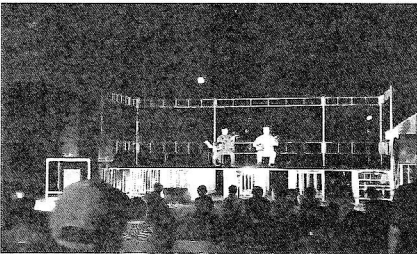
⑤千人ビンゴゲーム大会
第二部の盆踊りは、靖月会、高槻江州音頭保存会のメンバーの音頭

のつて五領ならではの盆踊り。江州音頭、河内音頭、炭坑節、高槻音頭などを踊りました。

また、自治会と学校・PTA・子供たちによる模擬店では、焼きそば、カキ氷、金魚すくい、わたがし、フランクフルト等に加え、ゲームコーナーなど賑わいを見せていました。

濱田市長、教育長、市民会議議長、社会福祉協議会会長等の来賓が来られ、代表からの挨拶のあと、スタートの花火点火をして頂きました。

地域教育協議会



▶仲秋月見会
9月21日、上牧小学校芝生広場で、仲秋月見会を開催しました。あわたしい日々にも、語らうと、たまには子どもたちと共にお話したい”をテーマに歌三線(森永博久&Friend)、歌イブ(アンニョン・クレヨン)が出演し、月が顔を出すな歌とぜんざいの夕べとなりました。

健康増進

▶盆踊り、夏祭りに協賛
一方、本年度も、淀の原や、エンゼルハイム自治会での盆踊りや夏祭りに連合自治会も協賛しました。

▶健康スポーツフォーラム
四月十四日、上牧小学校で、芝生広場春の祭典として、健康スポーツオーラムが開催されました。デイスコン、グラウンドゴルフ、卓球のスポーツのほか、健康推進リーダーの協力のもと、健康測定や、食事バランスが分かるSATシステムも登場。

▶三代代食育講座
夏休みの八月三日に「孫世代と一緒にクッキング☆三代代食育講座」が行われ、栄養士による楽しいゲームと、調理実習が行われました。

防犯活動

▶防犯委員研修
九月二十四日、平成二十五年度防犯委員研修が、高槻市生涯学習センター多目的ホールで行われ、代表が参加しました。講師は、関西学院大学の池笠聡教授。「犯罪被害に遭うことー米国コロ

バイン高校、そして付属池田小学校のご遺族との交流から」をテーマで講演。犯罪被害者の痛みを知り、犯罪被害者が被害から回復されることを知ってもらいたいと訴えられました。

▶全国地域安全運動の実施
十月十一日「全国地域安全運動高槻市・島本町防犯大会」が、みんなの力をあわせて安全・安心まちづくりをメインスローガンに行われ、防犯委員の代表が参加しました。

今回の大会では、特に、高槻署が特殊犯罪の被害が多いことから、「生活指導班」が防犯寸劇を通してその撲滅を訴えました。

日赤の活動

▶歳末防犯警戒
各自治会を拠点に、十二月二十九日、三十日を中心に、歳末防犯警戒が実施されました。高槻から中心拠点の五領公民館に二十九日に激励の訪問がありました。

▶献血推進活動
昨年続き、九月十四日、金光大阪中学校・高等学校に献血車を迎え献血に貢献しました。

そして、阪急高槻駅ミング前などで、街頭広報として、ティッシュを配布して啓発に当たりました。

▶学域献血の部で感謝状
金光大阪中学校・高等学校が、高槻市献血推進協議会創立四十周年記念式典で感謝状の贈呈を受けました。

▶社資募集の報告
活動を支える資金として毎年実施されています。本年も皆様のご協力により八十八万五千九百三十四円集まりました。(高槻市赤十字奉仕団 五領地区連合分団長 蘭田治治)

PTA協議会



▶親子カーニバル
11月6日、五領中学校で「第27回親子カーニバル」が行われ、子どもを守る地域づくりをテーマに、フードコーナー、ゲームコーナー、お楽しみコーナー、お楽しみコーナー、お楽しみコーナーと「100円を販売しました。